

## 保育園における保育内容等の自己評価結果まとめ「令和5年度」

※全体的に「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答で自己評価が高かった。所見では、対話の重要性があげられた。同じ出来事を経験しても人によって捉え方ひとつで物事は大きく変わってしまう。伝える側、受けとる側が上手にかみ合わないで伝えたつもり、分かったつもりでいると大きなトラブルに繋がるので早めに解決していきたい。今後は、評価結果を踏まえより良い保育を提供できるよう努力していきたい。

### 1、園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について

保育士をはじめ、看護師、栄養士、調理員、子育て支援員等がそれぞれの有する専門性を発揮し保育に取り組んでいる。職種は違うが常に同じ方向性を向いて共通理解をはかるよう努めている。よって「おおむね達成出来ている」という評価が多かった。

### 2、保育について

全体的に「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。日頃から朝礼、終礼で子どもに関する情報を職員間で共有している。特に気になる点や課題などは、臨時の職員会議を設け話し合っている。常に子どもたちの「最善の利益」を考え一人ひとりの子どもの発達状況を把握し配慮した指導計画に努めている。

### 3、健康管理について

「おおむね達成出来ている」との回答だった。一人ひとりの子どもの日々の健康状態をよく観察し午睡チェック等乳児突然死症候群に気をつけて保育がなされている。

### 4、行事について

「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。行事の回数は適切でねらいがしっかりしている。

### 5、食事について

朝礼では、その日のアレルギー食児チェック、終礼では、喫食状況の報告、また毎月1回は、給食検討委員会等を設けて話し合いの場を設けている。園の畑では、野菜を育て収穫したものを給食で提供するなど常に子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。

### 6、運営について

園長や主任、職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制が整っている。「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。

#### 7、保健・安全指導について

全職員が「おおむね達成出来ている」との回答だった。

#### 8、研修・研究について

全職員が園内、園外研修へ積極的に参加し保育の質の向上を図っている。「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。

#### 9、守秘義務について

全職員が「おおむね達成出来ている」との回答だった。

#### 10、設備について

全職員が「おおむね達成出来ている」との回答だった。

#### 11、子育て支援について

「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。だが、保育内容及び質問に対して分かりやすく説明できているかと問われると伝えたいところが保護者に伝わっておらず難しく感じるとの意見があった。

#### 12、開かれた保育園づくりについて

「おおむね達成出来ている」「ほぼ出来ている」との回答だった。ただ、子どもたちの興味や関心に基づいて地域社会、その他の施設等と交流しているか問われると難しい。乳児保育園なのでコロナウイルス感染症が 5 類扱いになったとはいえ外部との交流は慎重に対応し躊躇してしまう。

#### 13、情報発信について

全職員が「おおむね達成出来ている」との回答だった。これからも試行錯誤しながら園活動に誰もが興味関心をもてるような情報発信に努めていきたい。まずは、見る側により分かりやすく伝えるように写真を選んでコメントをつけて載せるなどして伝えていきたい。

## ～人権擁護のためのセルフチェックリスト～

前回セルフチェックした「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を手元に置いて個人面談を実施し子どもを尊重する保育がなされているか自らの「保育のあり方」を現在と照らし合わせ個別に振り返った。事前に「良い関わり」「好ましくない関わり」として前回の分にアンダーラインを引かせてもらいそれに沿って話を進めた。今後も常に子どもの視点に立ち自らの行う保育について振り返りながら保育の質の向上を図っていきたい。

## ～安心して働ける、働き甲斐のある職場に～

個人面談の中で、「気軽に相談できる上司や同僚がいますか」との質問に全職員が「いる」と応えた。また、「仕事の満足度はどのくらいか」意見が出た。いくつかの質問をしたところ、ある意見のひとつに先輩保育士から「ここは〇〇しといて」と言われ「××ではいけないのですか」と尋ねると「昔からしているので」と言われ何の根拠もなく納得できない。職員一人ひとり、固有の視点をもっていてそれはその人の個性でありその人らしさである。一方で自分の視点に固執することで「ひとりよがり」になる危険性も秘めている。保育現場は、多様な出来事が同時並行で絡み合いながら生じるとても複雑なもので人によっては捉え方が違うが自分の思いや考えを出せる風通しのよい職場環境を作り今後も「話しやすい関係や場づくり」に努めたい。

## ～疲労蓄積度自己診断チェックリスト～

全体では仕事による負担度は低かったが、中には疲労蓄積が「高い」「やや高い」と出た職員もいた。本人しか分からないのでストレスを溜め込まないよう個人の裁量で改善可能な項目については自分で改善し睡眠、休養をとり改善して欲しい。また、改善不可能な項目については気軽に相談して欲しいと伝えた。